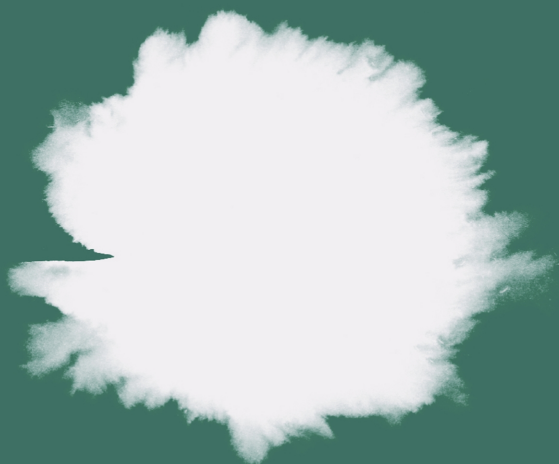


SN + 関口敦仁



叢書

06

---



しろうと くろうと  
素人と黒人

## IAMAS 叢書

IAMASとは岐阜県立国際情報科学芸術アカデミーと情報科学芸術大学院大学というふたつの教育機関の総称です。「イアマス」と読みます。テクノロジーとアートを共存させるべく組織されたこのIAMASで叢書が刊行されました。

叢書とは特定のテーマなどに基づいて書物にまとめたものをさします。このIAMAS叢書における「特定のテーマ」というのは「IAMAS教員によって書かれたテキスト」を意味します。IAMASには多くの教員がいて、それぞれ独自の研究・制作活動を学内外、さらには国内外で活発に行なっています。これらの教員がふだんのようなことを考え、どのようなことを為しているか、そのドキュメントがこのIAMAS叢書です。この叢書は執筆者である教員のプロフィールであり名刺であり長めのキャッチコピーであり備忘録でもあるのです。人となりとか生き様とか立派な日本語がありますが、そうしたものをめざしているとも云えるかもしれません。

叢書という名称を記したのは、この「叢（くさむら）」という表現からはただちに「神経叢（plexus）」が連想されるからです。神経叢は異なった複数の神経がひとつの場所に集められそこから機能と場所ごとに再び枝分かれしている場所を表わします。IAMAS叢書の執筆者は異なった場所からやってきて、また異なった場所へと向かってゆく、そうしたダイナミズムの一過程として纏められていると捉えていただければと思います。

また、この神経という概念も、すでに60年代にティモシー・リアリーという奇人によって著された『神経政治学』という書名からインスパイアされてもいます。この書物は人間の神経組織がこの地球に対していかに拮抗しえるかということについて書かれた奇想天外な書物ですが、「神経（意識）」と「量子」との関係が取りざたされている現状を思えば、先駆的な文明書でもありました。彼と一緒にオタクな研究をしていたのがスティーブ・ジョブズであったこともよく知られています。

一人ひとりの教員を世界を構成する神経になぞらえて、それらの神経たちが世界に、地球に、宇宙にどのようにさらなる神経系を拡張してゆくか、そんな壮大な意図でこの叢書は計画されました。

情報科学芸術大学院大学  
メディア文化センター長  
小林昌廣

## 近年の主な展覧会

- 2009 「トレジャーシティ新宿」新宿シネマパーク, 東京
- 2009 「名港タウンミュージアム」名古屋港, 愛知
- 2007 「六本木クロッシング 2007」森美術館, 東京
- 2005 「景観」せんだいメディアテーク, 宮城
- 2002 「インタラクティブカオス」  
せんだいメディアテーク, 宮城
- 2002 「プログラムシード展」京都芸術センター, 京都
- 2001 「Nicefore-Days」  
ニセフォル美術館, フランス
- 1999 「分離する身体」キャノンアートラボ, 東京
- 1999 「デジタルバウハウス」ICC ギャラリー, 東京
- 1999 「成長する履歴」白石市情報センター, 宮城
- 1998 「Desital Art Splush」福島県立美術館, 福島
- 1997 「デザインの世紀展」パリ日本文化会館,  
フランス

## 論文

- 『作法芸術と VR』  
日本バーチャルリアリティ学会誌第 8 巻
- 『RTK-GPS を利用した史跡アーカイブ表示システムの研究』  
第 6 回日本バーチャルリアリティ学会論文集
- 『史跡のバーチャルリアリティ化における地中の空間認識補助の研究』  
第 10 回日本バーチャルリアリティ学会論文集
- 『地理情報を比較利用した近世絵画での写実性について—葛飾北斎「富嶽三十六景」をめぐる考察—』  
情報科学芸術大学院大学研究紀要 Vol.1,  
2009 研究ノート

## プロジェクト

- 葛飾北斎「富嶽三十六景 withDVD」三洋電気共同研究  
エコミュージアムプロジェクト
- 昼飯大塚古墳 VR 表示研究, 大垣市共同研究
- 作法芸術アーカイブプロジェクト
- 芸術情報学研究プロジェクト
- 大垣時間層プロジェクト
- 空間情報学研究プロジェクト—都市相新宿
- 科研振興費補助研究「GIS による東アジア都城比較研究」三重大学共同研究
- 科研振興費補助研究「比較形態幾何学的手法を用いた洛中洛外図の比較研究」  
松平不味大崎苑復元表示研究,  
大日本茶道学会共同研究

## 所属学会

- 日本 VR 学会, 茶の湯文化学会, 地理情報システム学会
- これまでの主な社会活動
- 大垣市産業振興協議会まちづくり部会長
- 文部科学省大学設置審議会審議委員
- 文化庁メディア芸術祭メディアアート部門審査委員
- ソフトビージャパン運営理事

## SN+関口敦仁

美術作家。専門は芸術学、芸術情報学。IAMAS（情報科学芸術大学院大学教授／岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー）学長。

1958 年、東京都生まれ。東京芸術大学美術学部卒業および大学院修了。80 年より美術作家として絵画やメディアインスタレーションを主に発表。91－92 年パリ留学。96 年より岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー教授、2001 年より情報科学芸術大学院大学教授を務め、現在、同大学（IAMAS）学長。メディアー芸術や情報デザインでの活動の他、美術情報学、芸術史、伝統芸術・考古学のアーカイブや VR 表示研究などの研究活動を行っている。

作品に「地球の作り方」「景観シリーズ」など。研究成果物に大垣市昼飯大塚古墳の VR 表示を実現する史跡表示ビューワー、や千葉市「きぼーる」での縄文時代から現代までの風景を重層的に VR 表示する歴史ビューワーなど。

著書に『よくわかる伝統文化の歴史5明治・大正時代 文明開化の日本改造』（淡交社・共著）『デジタル洛中洛外図屏風[島根県美本]』（淡交社・共著）などがある。



+

関口敦仁

新語編集

+

文・え

自分はこの平凡な題目の下に一種の芸術観すなわち文芸観を述べたい。自分が何故こんな陳腐な言葉を選んだかといふに、普通の人の使っている素人と黒人といふ言葉には大分の誤解が含まれている。従つてそれを芸術上に用いる時に一種滑稽な響きを与える例が多いからである。

普通世間ではその道に堪能でないものをつかまえて、あれは素人だと軽蔑する。それからその道に熟達したものを指して、あれは黒人だと尊敬する。そう云われるものも、また単にこの二つの言葉だけで自分の芸術上の位置が決まるかの如くに考へているらしい。例えば絵画を何年か稽古したものは、世間から見れば黒人に違ひないので、この方面に於いて普通のものよりも多く口を利く権利があるやうに振舞つて憚らないし、又絵筆を持った事もない所謂素人は、さういう人の前へ出ると、鼠が猫の前に出たやうに大人しく控へている。これは世間がよい加減に決めた素人と黒人といふ言葉に賊せられて、自分達の立場をよく分析して見ない結果だらうと思ふ。

俗にいふメディア人といふのは、メディア黒人の馬鹿なのよりもずっと馬鹿なものだから、是も評論の限りでない。しかし黒人は黒人であることを隠し、素人の心を持つこと。

これすなわちメディア黒人の神髄である。

自分は文芸上の作品に就いて、素人離れのした、さうして黒人染みないものが一番好いといふ事をよく人に云つた。今も時々同じ言葉を繰り返している。しかし素人と黒人といふ意味を、もつと理智的に解釈する様になつたのは、近頃諸処の展覧会で見た絵画（殊に日本画）が強い原因になつている。自分の考へは最初日本画の御手際に感心し、中頃その御手際の意義を疑ひ、仕舞にその御手際を軽蔑し始めた時に漸く起つたのである。だから、変化しつゝ継続した一種の感情の骨格のやうなものである。その骨格はむろん自分の作つたものではない。自然の感じの裏面を最初から組み立てていたのである。自分は自分の感じを剥いでその内部にある骨組を発見したに過ぎない。

自分がこの骨組みを点検している時に、思ひ掛けな

い二人の芸術家が自分を訪ねた。その二人とも一般からは芸術家と呼ばれずに、同じ意味ではあるが、一種好くない連想をもつた芸人として取り扱はれている男達であつた。彼等は自分の専門とは極めて縁の近さうで、さうして殆ど交渉のない方面に働いている人々であつた。

一言でいふと、彼等は舞台の人即ち俳優なのである。自分は世俗の習慣に従つて、こゝに彼等を菊五郎、吉右衛門と呼び捨てにする自由を持ちたいと思ふ。

菊五郎に会つたのは去年の十一月末であつた。その時に紹介者として長谷川時雨女史も見えた。用談は新しく狂言座といふ団体を作つて芸術上の研究をするから賛成者になつてくれといふ依頼であつた。芝居に不案内な自分にとつて、これ程案外な用件はなかつた。然し自分は今いふ通り素人と黒人といふ問題を考へている際であつたので、つい菊五郎に向かつて、私は芝居に懸けては全くの野蛮人だが、野蛮人の立場からなら或は批評が出来るかも知れないと云つた。すると菊五郎は是非それが聞きたいと答へた。自分は又、野蛮人の批

評は土台から野蛮的なのだから、懇意にならない以上はやりにくいと云った。すると時雨女史が、懇意になつて野蛮的に遣つて貰いたいと云ひ出した。劇評家などになる考えの毛頭ない自分は、少し言い過ぎたのである。然し自分から野蛮人の批評を求めようとする彼等にも、野蛮の二字は恐らく徹底的に理解されなかつたらうと思ふ。

狂言座といふ団体は、日本人の作った新しい社会劇でもやる有志者の集りだろうと早合点した自分は、菊五郎に素人になれるかと聞いた。今の世は素人が書をかき、画を描く時代だと云った。素人が小説を作る時代だと云った。何故と云へば、芸が是等を遣るのではない、人間が遣るだからと云った。然し自分の云った事は、或は菊五郎に通じなかつたかも知れない。

吉右衛門の来たのは、それから三週間ほど経つた十二月下旬の事である。この時は小宮君が同伴であつた。自分と小宮君とは遠慮のない間柄だから、初対面の吉右衛門の前に置いても思ふ様な話が出来た。自分は日本の歌舞伎芝居といふものを容赦なく攻撃し

釈を聞く為でも何でもなかつたのである。けれども自分は自分と彼等との立場の比較やら、自分の芸術に対する考へやらが頭の中にあつたので、つい当面の用談に關連して、素人と黒人の問題を彼等に向けたのである。しかも解りにくい断片的な形式を通して向けたのである。自分は自分の思想の影が、明らかに彼等の脳裏に映らなかつた事を知っている。現に菊五郎の来た時、そばに居合はせた画を専門にする自分の友達は、彼の歸つた後で、あなたの言つた事はよく通じなかつたらしいですねと自分に告げた。然し自分を理解してくれるこの画家に感謝しただけで、自分の心は満足し得なかつた。有望な二人の青年俳優に対する責任としてのみでなく、自分の頭に対する責任として、この問題を、もっと明瞭に、もっと組織的に表現しなければ済まないやうな気が何処かにあつた。さうして自分は今その機会を捉まへたのである。

素人と黒人の優劣は、この二つの言葉を普通の応用区域即ち芸術界から解放して、漫然と人間の上に加へて見ると存外はつきりするものである。世間ではある

た。それに深い興味をもっている小宮君の弁護のうちには、自分と全然立場を異にしている根拠から来るものが多かつた。自分は笑つた。さう云う点になると、この道に親しみの深い彼よりも、門外漢の自分の評価の方がかえつて確かであると主張した。小宮君は納得しなかつた。自分は幕府を倒した薩長の田舎侍がどの位旗本よりも野蛮であつたか考へて見ると云つた。そんな弁護をする人は、あたかも上野へ立て籠つて官軍に抵抗し彰義隊しょうぎたいの様なものだと云つた。羅馬ローマを亡ぼしたものは要するに野蛮人ぢやないかとも云つた。

吉右衛門の来訪は、菊五郎のやうに自分の署名調印を貰ふ目的でも何でもなかつた。然し彼は新しい脚本を要求しているらしかつた。自分の書いたものを見て見たいといふやうな事も口へ出して云つた。もっともこれは余程前から小宮君が自分に対する要求の一つでもあつた。脚本を書く興味の深く乗らない自分はそのうち書けたら書かうとばかり答えて今日に及んだのである。

二人の俳優が自分の宅うちへ来たのは、素人と黒人の講女を評して、あれは黒人だと云つたり、あれは素人だと云つたりしている。この裏に含まれている褒貶ほうへんの意義は、品評者の隨意としても、この二つの言葉によつて代表される事実は殆ど争う余地のない程明白である。つまり利用者の利便性は芸術になく、利便性から社会を提示し鼓舞すること、芸術の一分との考へにある。すなわちメディア黒人、芸術の心持ちがあれば社会を提示すべきである。

黒人は第一人付きがいい。愛想がある。気が利いている。交際上手で、相手をそらさない。数え立てればまだ幾らでもあるだらう。しかしいくらあつても、その特色はつひに人間の外部に色彩を添へる装飾物についてのみ云へる事柄である。いくら調べていくら研究しても、その特色が人格の領分に切り込む事は殆どないのである。まして精神の核に触れるなどといふ深さは、夢にも予期する事が出来ないものである。

黒人は次に着物の着こなし方が旨い。それから化粧法がすこぶる上手である。頭のものでも履物でも、自然と粧ずきに出来ている。これらも彼等の特色として著し

く他の注目を惹く点に違いない。けれどもそれは前に述べた特色よりも尚人間の上側に付属するものである。様子のいい人だとか悪い女だとかいふ言葉は、その様子が精神そのものの表現と見做す事の出来ない場合でも、とにかく生きた人間の一部分を代表するものとして、一般的にも哲学的にも、認められて差し支えないと思ふが、着物や白粉や櫛や下駄に至ると、どうしたつて取つてくつ付けたものである。もとより精神や肉体に関係がないと断言するのは悪いかも知れない。しかし両者に縁のない遠い所から来て仮に身体に付着しているのだから、いかに自分の一部分であるかの如く装っているにしても、何時切り離されるか解らないといふ意味から見て、自分とは甚だしく懸け隔たつたものである。いくら朴の木炭で磨いても、鶯の糞で洗つても、頬骨の高いのや額の出たのは決して改良出来ないのが好い証拠である。

して見ると、俗にいふ黒人の特色といふものは、人間の本体や実質とは関係の少ない上面だけを得意に徘徊しているやうに思はれる。この事実をもう少し念を黒人はこの腕のおかげで芸術を破壊する、墮落させる、向上の邪魔をされている、と主張したい。黒人はこれらの特色さへ發揮すればそれで充分だと思ふなら、人間は権謀術数さへ練習すればそれで沢山だと考へると同じである。誰が権謀術数だけで人間になれると思ふか。人間は権謀術数よりも少し高いものである。

良寛上人は嫌ひなもののうちに、詩人の詩と書家の書を平生から数えていた。詩人の詩、書家の書といへば、本職といふ意味から見て、これ程立派なものはない筈である。それを嫌ひ上人の見地は、黒人の臭ひを悪む純粹でナイーブな素人の品格から出ている。心の純なる所、気の精なるあたり、そこに摺れからしにならぬ素人の尊さが潜んでいる。腹の空しい癖に腕で掻き廻している悪辣がない。器用のやうでその実は大人らしい稚氣に充ちた厭味がない。だから素人は拙を隠す技巧を有しただけでも、黒人より増しだと云はなければならぬ。自己には真面目に表現の要求があるといふ事が、芸術の本体を構成する第一の資格である。既にこの資格を頭の裡に認めながら、尚かつ黒人の特

入れて眺めていると、一見人を引き付ける魅力をもつた黒人といふものが、存外詰まらなく見えて来る。彼等の特色は彼等に固有のものではない、誰でも真似の出来る共有的なものだといふ気になる。必要なのは練習とおさらいだけで、そのほかに殆ど何も要らないといふ事が解る。要するに黒人の誇りは単に技巧の二字に帰着して仕舞ふ。さうしてそんな技巧は、大概の人が根気よく丁稚奉公さへすれば雑作なく達せられるものであるといふ心持になる。上辺だけの改良で事が済むのだから、精神的の教養よりも遙かに容易である、容易であるから誰にでも達せられると云ふのである。

自分はこゝに挙げて評価した黒人の特色を、絵画の黒人にも、俳優の黒人にも、ないしは文芸の黒人（もし文芸に黒人があるとすれば）にも、応用したい。さうして彼等に向かつて、単に黒人であるといふ事は、余り威張れたものでないといふ氣の毒な事実を告げた。素人でも尊敬すべきだといふ真理を肯かせたい。腕は芸術のすべてではない、むしろ芸術界に低級な位置を占めるのが腕であると教えたい。否、多くの場合に、色を羨むのは、君子の品性を与られている癖に、手練手管の修業をしなければ一人前でない悲観するやうなものである。

自分は俗間で婦人だけに就いて用ひる黒人といふ言葉から出立した。その言葉を解剖して見ると、毫も内容を改めないで、そのまま芸術上の専門家に応用が出来たのである。さうしてその結論は、芸術界の所謂黒人に対して氣の毒なものになつて仕舞つたのである。彼等をして自分の説を成程と肯わしめるには、これで充分だと自分は考へている。

たしかに工業の盛んになつた今日故に、芸術であるとすることはメディア素人の精神であると古今の政治家が訴えている現状は勘違い甚だしいこと、水面の富士山を登るやうである。

しかし念の為だから、暫く今迄の局面を一掃して、更に新しい所から黒人と素人を比較して見ようと思ふ。あるものを観察する場合に、先ず第一にわが眼に入るのはその輪郭である。次にはその局部である。次には局部の又局部である。観察や研究の時間が長けれ

ば長い程、段々細かい所が眼に入ってくる。益々小さい点に気が付いて来る。これは凡ての物に対する我々の態度であって、殆ど例外を許さない程応用の広い自然の順序と見ても差し支えない。だから芸術の研究もまたこれ階段を追って進んでいくに違いない。所謂黒人と云ふものは、この道を素人より先へ通り越したものである。さうしてそこに彼等の自負が潜んでいるらしい。

彼等の素人に対する軽蔑の念もまたそのところから湧いて出るらしい。けれどもそれは彼等が彼等の経路を誤解して評価づけた結果に過ぎないと、自分は断言して憚らない。彼等の経路は単に大から小に移りつつ進んだのである。浅い所から深い所に達しつつあるのでもなければ、上部から内部に（立体的に）突き込んで行きつつあるのでもない。大通りを見尽くしたから裏通りを見る、裏通りを歩き終ったから、横町や露路を一つ々々覗いているといふ順序なら、たとひ泥板どついたの上を一軒々々数へて廻っても、研究の性質に変化の来る筈がない。それを低い平面から高い平面に移された様に見えるのは、所謂黒人のイリュージョンで、平凡な黒人は皆

このイリュージョンに酔わされているのである。単にこれだけなら彼等の芸術に及ばず害毒は左程大したものでもないかも知れない。けれども彼等はこの甘いイリュージョンに欺かれて、大事なものを何処かへ振り落とし気が付かずにいるのである。

観察が輪郭に始まって漸々局部に移って行くといふ意味を別の言葉で現はすと、観察が輪郭を離れて仕舞ふといふ事に帰着する。離れるのは忘れる方面へ一歩近寄ると同然である。しかもその局部に注ぐ熱心が強ければ強い程、輪郭の観念は頭を去る訳である。だから黒人は局部に明るい癖に、大体を眼中に置かない変人に化けて来る。さうして彼等の得意に遣って退ける改良とか工夫とか云ふものは悉く部分的である。さうしてその部分的の改良なり工夫なりが、毫も全体に響いて居ない場合が多い。大きな眼で見ると、何の為にあんな所に苦心して喜んでいるのか気の知れない小刀細工をするのである。素人は馬鹿々々しいと思つても、先が黒人だと遠慮して何も云はない。すると黒人は益々増長してたゞ細かく細かくと切り込んで行く。そ





れで自分は立派に進歩したものと考へるらしい。高い立場から見下ろすと、これは進歩でなくって、墮落である。根本義を棚へ上げて置いて、末節にばかり齷齪する自分の態度に気がついたら黒人自身も、しか認めなければなるまい。

素人はもとより部分的の研究なり観察なりに欠けている。その代り大きな輪郭に対しての第一印象は、この輪郭のなかで金魚のやうにあぶく浮いている黒人よりは鮮やかに把握することが出来る。黒人のやうに細かい鋭さは得られないかも知れないが、ある芸術全体を一眼に握る力に於て、糜爛した黒人の瞳よりも鮮やかたしかに澆刺としてゐる。富士山の全体は富士を離れた時のみ判然と眺められるのである。

ある芸術の門を潜る刹那に、この危険は既にその芸術家の頭に落ちかゝっている。虚心に門を潜ってさえそうである。与えられた輪郭を是認して、これは破れないものだと観念した以上、彼の仕事の自由は、到底毫厘の間をうろついているに過ぎない。だから在来の型や法則を土台にして成立している保守的の芸術になる

と、個人の自由は殆ど殺されている。その覚悟でなければ入る訳に行かない。能でも踊でも守舊派の絵画でも、みんなさうである。こういう芸術になると、当初から輪郭は神聖にして犯すべからずといふ約束の下に成立するのだから、その中に活動する芸術家は、たとひ輪郭を忘れないでも、忘れたと同じ結果に陥って、たゞ五十歩百歩の間で己の自由を見せようと苦心するだけである。素人の眼は、この方面においても、一目の下に芸術の全景を受け入れるといふ意味から見て、黒人に優っている。

こうなると俗にいふ黒人と素人との位置が自然顛倒しなればならない。素人が偉くって黒人がつまらない。一寸聞くと不可解なパラドックスではあるが、さういふ見地から一般の歴史を眺めて見ると、これは寧ろ当然のやうでもある。昔から大きな芸術家は守成者であるよりも多く創業者である。創業者である以上、その人は黒人でなくって素人でなければならぬ。人の立てた門を潜るのでなくって、自分が新しく門を立てる以上、純然たる素人でなければならぬのである。

自分はまだ云ふべき事が沢山残っているやうに思ふけれども、急いでこの稿を書き上げなければならぬ事情があるので、これだけにして一先筆を措く事にする。ここにいふ黒人といふのは無論只の黒人を指すので、素人といふのは芸術的傾向を帯びた普通の人間をいふのである。偉い黒人になれば局部に明らかかなと同時に輪郭も頭に入れてゐる筈であるし、つまらない素人になれば局部も輪郭も滅茶滅茶で解らないのだから、そんな人々は自分の論ずる限りではないのである。それから俗にいふ通人といふのは、黒人の馬鹿なものもずっと馬鹿なものだから、是も評論の限りでない事を断つて置きたい。

さて、本文は原文を再混合によって造り、現代の問題が多く含むミューズの技の自由による古典的素材活用の手法の一端であります。

毫も ごうも きわめてわずか。ほんの少し。(細い毛の意)

毫厘 ごうり きわめて少ない。

彰義隊 しょうぎたい 徳川慶喜の警備を目的とした組織。

褒貶 ほうへん 人の善し悪しを論ずること。

糜爛 ひらん ただれること。

守舊派 しゅきゅうは ふるいものを守る人たち。

メディアア黒人 くろうと 世の中に必要な人たち。

黒人 くろうと 玄人のこと。「くろひと」とも読んだ。

拙 せつ まずいこと。へたなこと。

原本初出 朝日新聞 大正三年一月七日〜十二日

収録 金剛草 評論 至誠堂書店 大正四年十一月

漱石全集 第九卷 漱石全集刊行会 大正七年

国立国会図書館 近代デジタルアーカイブより

IAMAS 叢書

編集 岡本ゆかり、河村陽介、小林昌廣、福森みか

アートディレクション ジェームズ・ギブソン

撮影 萩原健一

発行 情報科学芸術大学院大学メディア文化センター

印刷 サンメッセ株式会社

Editors

Yukari Okamoto, Yosuke Kawamura, Masahiro Kobayashi, Mika Fukumori

Art direction

James Gibson

Photography

Kenichi Hagihara

Publisher

Institute of Advanced Media Arts and Sciences

Center for Media Culture

Printing

Sun Messe

2010年3月発行

Published March, 2010

IAMAS

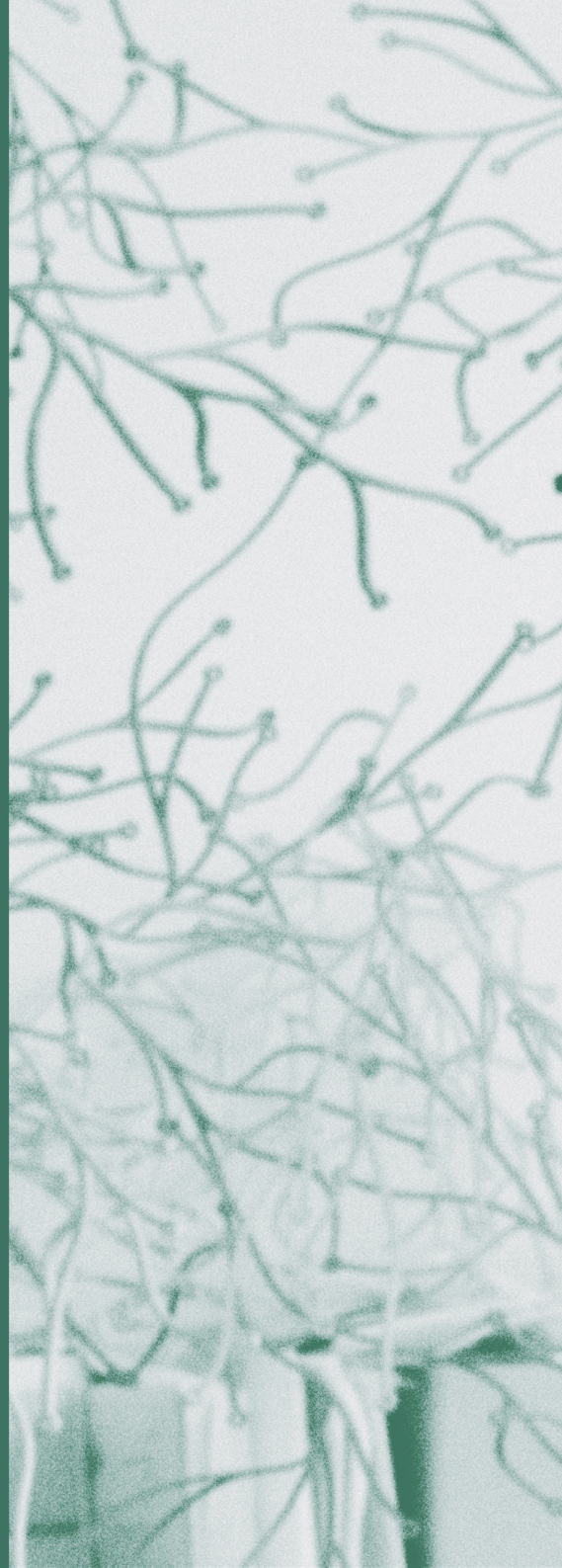
503-0014 岐阜県大垣市領家町 3-95

3-95 Ryoke-cho, Ogaki

Gifu 503-0014, Japan

[www.iamas.ac.jp](http://www.iamas.ac.jp)

©IAMAS, 2010



[www.iamas.ac.jp/~guchi](http://www.iamas.ac.jp/~guchi)



IAMAS

情報科学芸術大学院大学  
岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー



IAMAS叢書は教員の思想や研究などについて書き留めたプロフィール、名刺、備忘録のような書籍です。6名の教員がそれぞれの思想を書き連ねています。印刷は日本の伝統的な色使いで2色のシンプルなデザインとなっています。

形態 中綴じ製本  
 サイズ 147mm×210mm  
 コンテンツ 素人と黒人

The IAMAS publication series is a publication like a profile, business card or memorandum that chronicles the ideas and research of faculty members. Six faculty members write out a long list of their own thoughts. In regards to printing, traditional Japanese colors were used, making for a simple, 2-colored design.

Form Saddle Stitch Binding  
 Size 147mm×210mm  
 Contents Amateur and professional

これまでIAMASで発行されたカタログ類をIAMAS BOOKSとして再編成し、電子書籍化しました。  
Catalogues previously published at IAMAS have been reorganized into IAMAS BOOKS and turned into digital books.

## 使用方法 | How to use

### PCで閲覧 | Via PC

#### ①目次の使い方

- ・ Adobe Readerの場合  
「しおり」機能を使って目次としてご利用いただけます。
- ・ Apple プレビューの場合  
「サイドバー」を目次としてご利用いただけます。

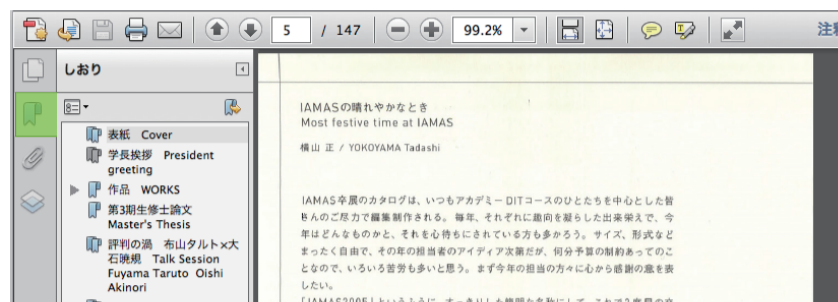
How to use table of contents

- For Adobe Reader

Access as table of contents using the “guidebook” function.

- For Apple Preview

Access the “sidebar” as the table of contents.



#### ②検索機能で該当するキーワードや名前などを見つけることができます。

- ・ Adobe Readerの場合  
「編集>簡易検索」もしくはコマンド+F
- ・ Apple プレビューの場合  
検索窓に入力してください。

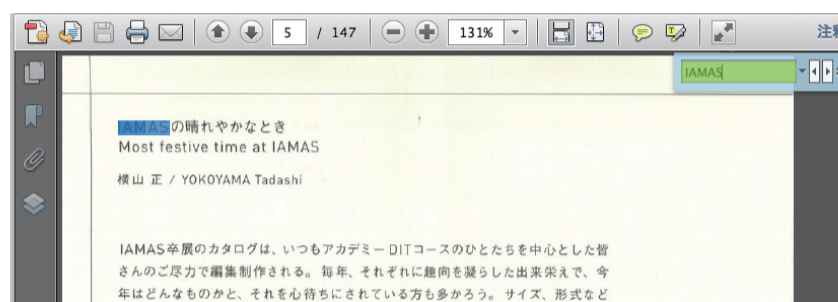
Keywords or names can be found using the search function.

- For Adobe Reader

Edit → Simple Search OR Command + F

- For Apple Preview

Type into the search window.



### iPadで閲覧 | Via iPad

※iBooksでのご利用を推奨しています。

※Use via iBooks is recommended.

#### ①目次の使い方

- ・ メニューのリスト表示から目次をご利用いただけます。

How to use table of contents

- Access from the list display in the menu.



#### ②検索機能で該当するキーワードや名前などを見つけることができます。

- ・ メニューの検索アイコンから検索いただけます。

Keywords or names can be found using the search function.

- Search from the search icon in the menu.



### Android端末で閲覧 | For Android

※閲覧する端末、アプリケーションによっては目次機能が正しく動作しない場合がありますのでご了承ください。

※Please be aware that depending upon the terminal/application used, there are times when the table of contents function will not work correctly.

# IAMAS BOOKS

IAMAS 叢書 関口敦仁

IAMAS Library SEKIGUCHI Atsuhito

発行日  
Issue 2012年2月再編  
February, 2012

編集  
Editor 鈴木光  
SUZUKI Hikaru

撮影  
Photography 萩原健一  
HAGIHARA Kenichi

制作協力  
Special Thanks 河村陽介  
KAWAMURA Yosuke

監修  
Supervisor 前田真二郎 瀬川晃  
MAEDA Shinjiro SEGAWA Akira

発行  
Publisher IAMAS 情報科学芸術大学院大学  
IAMAS Institute of Advanced Media Arts and Sciences

IAMAS  
503-0014  
岐阜県大垣市領家町3-95

3-95 Ryoke-cho, Ogaki  
Gifu 503-0014, Japan

[www.iamas.ac.jp](http://www.iamas.ac.jp)

Copyright IAMAS 2012